

スペースプレーヤーが映し出すムービー映像に多くの子どもたちが目を輝かせています。

東京都町田市 町田市子どもセンターまあち 様



子どもたちを核とした地域コミュニティの場に 当社のスペースプレーヤーが導入されました。

町田市では早くから子育て支援に注力されており、「子ども・子育て支援事業」を多面的に推進されています。その事業の一環として0歳～18歳の子どもたちが自由集える「町田市子どもセンターばあん」を1999年に開設。その後、同センター「つるっこ」「ばお・ばお分館」「ただON」を開設され、今年4月に5館目となる「町田市子どもセンターまあち」を開設されました。体を使って遊べるプレイスペース、バンドなど音楽の練習ができるスタジオ、小さい子どもが遊べる乳幼児室、利用者同士や地域の方と交流できるテラスを備えた施設で、料理や工作などの、いろいろな体験ができるプログラムも実施。子どもたちだけでなく、乳幼児のお母さんのコミュニティの場として毎日多くの市民が利用されています。この施設に新しいコミュニケーションツールとして当社のスペースプレーヤーが導入されました。



町田市子どもセンターまあち



**動きのある映像で子どもたちの視線を集める
新しいコミュニケーションツールに。**

町田市子どもセンターまあちでは、スペースプレーヤー2台をご採用いただきました。1台はエントランス部分にウェルカムボードとしてスペースプレーヤーの映像を投射。絵本をモチーフにしたストーリー性のある映像が、小さい子供たちの目を釘付けにしています。

もう1台は受付カウンター上の壁面に映像を投射。スペースプレーヤー専用ソフトの「チョークアートメーカー」を使って、イベントの告知や来館者へのメッセージを映し出しています。ポスターと違い、動きがあることで目に留まりやすいと喜ばれています。

**コンテンツ作成も子どもたちの発想で
オリジナルの画像やメッセージを作成。**

コンテンツは小学校3年生から中学生で構成している「子ども委員会」のメンバーと一緒にオリジナルのものを作成されています。エントランスの映像では施設にまつわるクイズを作成し、楽しみながら子どもセンターの情報を提供しています。

受付の壁面に投射している「チョークアートメーカー」はタブレットで簡単にイラストや文字が描けるとスタッフの方にも好評。文字が一文字ずつ現れたり、黒板消しで消していくようなアニメーション効果も子どもたちの注目を集めています。また、子どもたちと一緒にコンテンツを作成できるので、運営の参加意識も高まり、コミュニケーションも深まっているそうです。

今後は、館内イベントで映像コーナーに活用したり、工作教室などの映像を流したりと、いろいろな活用法を検討されています。

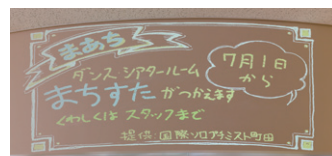
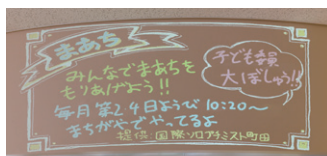
**目立たないコンパクトな形状や
視認性・操作性の良さも高評価。**

投射する映像はリモコンで選択できるので操作が簡単。エントランスのように外光の入る明るい床面でも映像がくっきりと見えると評価されています。

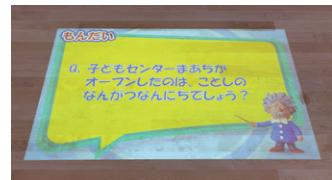
投射角度が自由に設定でき、スポットライトのようなコンパクトな形状なので、天井に設置しても圧迫感がない点も好評です。

在庫区分：○…工場在庫品

■ コンテンツ活用例



チョークアートメーカーによるムービー告知で注目度も格段にアップ。



エントランス部分は、ウェルカムボードやムービー形式の絵本、施設にまつわるクイズなどを投射。子どもたちの目を釘付けにしています。



**Space Player
NTN91000W**

○ オープン価格

- 仕様 / ●光源：レーザーダイオード ●光出力：1000 lm
- 入力電圧：AC100V 50Hz / 60Hz (100V配線ダクト用)
 - 消費電力：125W
 - 寿命：20000時間 (初期の50%の明るさになるまで)
 - 灯具：プラスチック (ホワイトや消し出し)
 - ワイヤレスリモコン付
 - 推奨映像解像度：1,280×800

納入商品

- スペースプレーヤー × 2台・チョークアートメーカー